

第25回長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時：令和4年1月20日（木）

午後3時から午後4時15分

場所：長野市ふれあい福祉センター  
5階 大ホール

出席委員：6名

竜野委員、金澤委員、越原委員、石川委員、柳瀬委員、吉川委員

欠席委員：1名

塚田委員

1. 開会
2. 長野市都市整備部長あいさつ
3. 評価専門委員会委員長あいさつ
4. 議事
  - ・長野市中心市街地活性化プランの延長について

資料1-1～3について、事務局から説明

| 発言者 | 発言内容   |
|-----|--|
| 委員  | 予測分析における係数を教えてほしい  |
| 事務局 | 本日手元にありませんので、後日お知らせします。  |
| 委員  | 目標値算定にあたって必要。後ほど教えてほしい。  |
| 委員  | （中心市街地の人口比率について）<br>市町村合併の影響は、この年度内では無いと考えて良いか。  |
| 事務局 | 市町村合併はそれ以前のため影響はありません。   |
| 委員  | 目標数値についてはコロナ禍等のため致し方ないと思う。長野市の特徴として、観光業が強い。工業や農業があまり強くない地域であると感じている。<br>まちなか観光の推進、まちなか交流の推進は非常に重要な数値になる。数値を下げるのは致し方ないとしても、ぜひこれを上回る努力をしていかなければいけない。よろしくをお願いしたい。 |
| 事務局 | コロナ禍であっても、観光の数値はある程度維持できている。<br>（今後策定予定である）新しい計画においては、新たな目標・指標を設けて、事業の見直しを行っていく。現状ではこの数値で考えていただきたい。  |
| 事務局 | 長野市は観光業が交流人口のメインである。今後コロナ禍である状況を踏まえて、数値の保持回復をしていきたいと考えているが、今のところこの目標で考えていきたい。今後、各指標については長野市と、皆様と、話し合いながら活力ある長野市にしていきたいと考えているので、協力をお願いしたい。                      |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 延長する3年間というのは、ハード事業を何にするかを定める期間ということか。   |
| 事務局 | 資料1-1に令和9年事業完了という例があるが、現在想定している事業が、その頃完了する見通しをつけている、というものがある。順調に進んだ場合、第3期長野市中心市街地活性化基本計画期間内に事業が完了し、後半2年程度で効果の検証ができる計画となっている。それ以外にも候補となる事業を、プランを延長する中で洗い出しをしていく予定である。                        |
| 委員  | 策定だけではなくて、並行して事業を動かしていく期間ということか。想定されているハード事業は具体的に何か。  |
| 事務局 | いくつか候補があるが、長野中央西地区については、現在計画案を策定中であるが、その中の重点プロジェクトとして挙げている中に、民間の事業であるが長野駅前再開発(長野駅前B-1地区(仮称))事業が地元で進められている。それが予定通りに進むと、先ほどの期間内で事業が完了し、その効果発現が期待されるということで、候補の一つである。この事業については、今年度準備組合が設立されました。 |
| 委員  | 毎回数値が増えた、減ったばかりで…例えば、まちに来る人の満足度は数値としてあるのか。その目標値はどのくらいか。そういった指標はないのか。以前訪れた方が、再び訪れた時に感じた満足度等を測る数値等はあるのか。  |
| 事務局 | (中心市街地活性化基本計画認定)マニュアルの中に街の満足度がある。他市においては満足度の指標を設けている所もある。本市においても皆様と話し合いながら今後検討していきたい。   |
| 委員  | 今後、この満足度の数値は非常に重要になる。その辺にも配慮が必要。(資料1-2-P2)目標1「行きたくなるまち」の指標について。ちょっと読んでも分からないが、今回のプランでは「休日」に戻すということか。  |
| 事務局 | 第2期(長野市中心市街地活性化基本計画)の計画の時から「休日」の通行量に変更しており、引き続き「休日」の通行量を使用していく。   |
| 委員  | (満足度について)長野中央西地区の計画策定の際にアンケートを実施した。その中身を少し出してもらえるとわかりやすいのではないかと。中心市街地に対する意見がたくさん出ている。   |
| 委員  | 目標値を数値で見せられてもイメージが湧かない。計画の為には必要だと思うが、もっと具体的な対策が見えると良い。例えば、権堂の空き店舗数も、空き店舗をどうしたらいいと考えているのかとか、その方向性を教えてもらいたい。また「巡りたくなるまち」とあるが、誰が巡りたくなるのか、具体的にどうしていきたいのか、といったものがあれば教えていただきたい。                   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>例えば、石畳舗装などのハード事業を行い、その事業が期間内に終了し、効果発現により歩行者通行量が増える。といった形にならないと中心市街地活性化基本計画への認定申請が出来ない。</p> <p>指標の考え方について、まちなか観光の推進（行きたくなるまち）：観光の為の指標ということで捉えてほしい。まちなか居住の促進（住みたくなるまち）：中心市街地への居住人口の増加ということで考えてほしい。まちなか回遊の推進（巡りたくなるまち）：主に市民及び市民以外の中心市街地内の回遊、まちなか交流の推進（交わりたくなるまち）：こちらも主に市民が公共施設での交流によりにぎわいを生む、ということで、指標として示しているものである。第3期の新しい計画を策定する際には、方針・目標・指標といった内容についても皆様と話し合っ決めていきたい。</p> |
| 事務局 | <p>（補足）中心市街地活性化プラン（全編）の中では、例えば『めぐりたくなるまち』の達成に資する事業として、それぞれ各事業が位置付けて記載されている。本日は「方針及び目標」の一部分のみの資料となっているため、分かりづらく申し訳ありませんでした。</p> <p>指標ということだが、第3期長野市中心市街地活性化基本計画の認定申請に向かって、新たな指標等を設定する時に、皆さんに諮って設定の検討をしていきたい。</p>  |
| 委員  | <p>まちなか観光の推進、観光客がどのくらいかを測るのに、善光寺仁王門の通行量を測ったということか。それが、観光推進の指標としてどのような構成があるのか。</p>  |
| 事務局 | <p>別の指標として、例えば、土産物の売上高であったり、何か違う考え方、指標で考えた方がいいのではないかという意見であれば、それも検討していきたい。</p>   |
| 委員  | <p>長野市の観光は善光寺しかなくて、善光寺の観光客が増えたら街が活性化しているという結論になる。</p>  |
| 事務局 | <p>中心市街地 216ha の中の観光要素として最大限捉えられるのが、善光寺仁王門前であることから、善光寺仁王門前の歩行者通行量の増減を観光目標指標としている。もし松代地区でこのような計画を作れば真田邸の前ということになるかもしれない。</p>  |
| 委員  | <p>長野市民の共通認識として、最大の観光が善光寺ということか。</p>   |
| 委員  | <p>善光寺の観光客が増えれば、駅前も活性化するし、中央通りも人が増えるだろう。その相関性が高い。駅からバスでピンポイントに善光寺に向かうと、まちなかはどうか…ということにもなるが、善光寺の観光は駅前の活性化に繋がるという考え方ではないか。</p>   |
| 委員  | <p>善光寺に来る人は車で来る人が多いと聞く。駐車場を利用して、まちなかは回遊しない。長野は善光寺以外回る所がない。通過点であると聞いた。宿泊は別の所で。皆さんは善光寺の観光がまちなかの活性化に繋がるという共通認識なのか。私の認識とは少し異なる。</p>  |
| 事務局 | <p>現在のプランが、中心市街地活性化基本計画の第1期2期を基に作られている。中心市街地活性化基本計画の第1期・2期の考え方では、まちの活性化とは、人が住んでいる・人が歩いている・文化交流施設を利用し、人のにぎわいが生まれること。そういったものを基に指標が作られている。第3期の中心市街地活性化基本計画認定申請については、まちの様々な満足度の増減を指標とすることも考えていきたい。</p>   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | 今回はプランの期間延長なので、今年度末にこれまでの評価をしなければいけないということで、延ばす部分も同じ指標で延ばしたほうが、次の計画に入る時にも指標が一定であるので、より正確に評価できるのではないかとということで、今までやってきた指標をそのまま同じもので回したい、と考えている。ただ、目標値だけはこのコロナ禍で社会状況が大きく変わったので、ここで見直していきたいということである。指標の問題については、今後、第3期長野市中心市街地活性化基本計画は国への認定申請に向けて、実りのある指標になるように皆さんと一緒に決めていきたい。 |
| 委員  | 今までもずっとそうだったので、改めて言う必要はないかと思うが、そもそも4行から5行のワンセンテンスでは、読みづらいし分かりづらい。<br>資料1-2-P1の「1 方向性」についてはどこにかかっているのか。   |
| 事務局 | 方向性の書込みについては、中心市街地活性化プラン策定時に、国の認定計画マニュアルに沿って作ると内容が固いものになるので、平成29年にプラン策定に当たって全体的に分かりやすいような書き込みとした。  |
| 委員  | 目標指標について、今回は「COVID-19による特異値」ということで一部除外しているが、新常态としてこの状態が続いたときには、特異値として除外せず目標値を変えるのか、もしくは目標値は変えず目標値に近づけるために新たにテコ入れを図るのか、どのように考えているか。   |
| 事務局 | 内閣府によると、中心市街地活性化基本計画の認定申請にあたっては、コロナによる影響は記載しない、ということになっている。第3期の認定計画申請の際には、コロナ前の値から、どのくらいの増加を目指すかを考えていきたい。  |
| 委員  | 長野中央西地区の計画でメインになっている、中央通りの昭和通り以南の整備について。これは北側でやって良かったから南側も、ということが基本なのか。  |
| 事務局 | 当時と変わっていることがあって、道路の配分(歩道と車道)がある。<br>今は「居心地が良く歩きたくなるまち」ということで、国土交通省の提案が2つある。ひとつは「ほこみち制度」、公共用地をにぎわいの空間に使っていいというもの。もうひとつは建物を(公共用地から)セットバックすることによって、民地を歩道の一部として一体で使うというもの。(南石堂の)西友前で今年度社会実験を行った。今は考え方が、(中央通り)北側を整備した時と変わってきている。今後はそういったものを含めて考えていきたい。                        |
| 委員  | 私の中では、昭和55年の長野市交通計画が一番ベースになっていて、そこから規制方針とか色々紆余曲折して、中央通りの北側は車が淘汰されること無く、車が通りながら、歩行者も安全に歩けるようになった。今回もっと民意が無ければ、建物を建て替えるような事がなければ難しいのではないかと。<br>資料1-2-P6の所に、中央通りの「歩行者優先道路化事業」を実施したが、回遊性の向上効果は十分に発現しておらず…と記載があるが、数値上表れていないだけで、回遊性は実感として発現してはいるのではないかと。                       |
| 事務局 | 数値には表れてはいないが、中央通りを歩いている人は多いと思う。  |
| 事務局 | 中央通りの回遊はだいぶ増えている感覚がある。測定した日によるところも大きい。<br>「十分に発現しておらず…」という表現を違う表現に変えるということでご理解願いたい。  |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | それがないと、南側の計画につながっていかない。  |
| 事務局 | 表現を検討させていただく。  |
| 委員  | (中央通りの)ベンチの利用を見ているも、出来たばかりの頃は使っている人は少なかったが、だんだんと利用が増えている。歩道を広くしたことで回遊性が高まったと感じる。この表現だと全然ダメだったと感じるので少し変えてほしい。 |
| 事務局 | 承知した。  |

## 5. その他

権堂地区再生計画の見直しについて…現在地元ヒアリングを実施している。

長野中央西地区市街地総合再生基本計画（案）について…12/1～12/27 パブリックコメントを実施  
 現在内容を精査している。  
 年度内に計画策定予定。

## 6. 閉会